

～地域に生きる～ すぎの子はったつ通信

テーマ：療育って？



療育ってなんのために、
どんなことをするの？

当法人の5つの事業所では、個々の課題や目標に合わせて、
一人ひとりに応じた支援に取り組んでいます。
今回は、療育での具体的な取り組みを皆様にご紹介させていただきます。

例えば・・・

～行動管理～

- 見通しを持ち、自立して活動するために
- 活動を終え、次の活動に移行することが自分でできるようになるために

具体的には、こんな様子



- ・毎日、朝の準備や身支度が進まない・・・
- ・好きな遊びがなかなか終われない・・・
- ・初めての場所や活動でパニックになる・・・
- ・いつも同じ流れでないと怒る・・・

療育では・・・

個々に合わせたスケジュールを使って、
自立して活動する習慣を身に付けます。
時間を見える形にすることで見通しが持て、
安心して過ごすことに繋がります。



タイマー等を使って活動の終わりを明確にし、
切り替えの練習にも取り組みます。

家庭でも・・・

スケジュールを使うことで、
朝の準備がスムーズになった！



～身辺自立～

- 将来にわたって実施する身の回りのことが自立してできるよう、小さいころから積み上げるために

具体的には、こんな様子



- ・荷物や、使ったものをいつも出しっぱなしで片付けない・・・
- ・歯磨きや着替えをやりたがらない・・・
- ・学校では自分できるのに、家ではできない・・・

療育では・・・

手順書を使って、手洗いや歯みがきの練習をしたり、
来所時や帰りの荷物の準備を自分で行います。



それぞれに合った方法を見つけ、
身辺面の自立を目指します。

家庭でも・・・

療育で上手くいった方法を取り入れることで、
ひとりで着替えや荷物の準備ができるようになった！
“できる”という自信と意欲に繋がった！



～コミュニケーション～

- 自分から相手に思いを伝えられないことで、不適切な行動に走ることを防ぐために
- ことばでなくても、自分から相手に思いを伝えられるようになるために

具体的には、こんな様子



- ・思うようにいかない時に、よくパニックになる…
- ・お友達とのトラブルが多い
- ・家族以外の人に、自分の気持ちを伝えられない…

療育では…

絵カード等、本人にとって分かりやすい手がかりを使って、適切な表現の方法（伝え方）を学びます。



「相手に伝わった！」という経験を積むことで、人との関わりやコミュニケーションの意欲を育てます。

家庭でも…

表現の方法が広がり、パニックが減った！
自分から思いを伝えてくれるようになった！



※他にも、お子様に合わせたさまざまなサポートを実施しています。

日頃の様子をお伺いしたり、療育中の様子を見ていただくことで、
お子様の特徴や行動について保護者の方と共有します。
お子様に合った支援方法を一緒に検討することで、
園や学校、家庭や地域でのより良い過ごしに繋がっていきます。

保護者研修

- 生涯を通じて、地域で安心して暮らしていくため、保護者の方がお子様のよりよき理解者・支援者であるために

自閉スペクトラム症の特性の理解、支援の観点や方法を学び、
お子様への理解をより深めていただくことを目的とし、
年間10回、保護者の方へ向けた研修を実施しています。
また、保護者同士の交流や情報交換の場として、
グループトークも行っています。



グループトーク



疑似体験

an・az・will・Link 年間プログラム

	内容
第1回	療育って何？ ～療育のねらいや目的～
第2回	講義① 「自閉スペクトラム症の特性の理解 ～社会性・コミュニケーション・想像力～」
第3回	講義② 「自閉スペクトラム症の特性の理解 ～感覚面の特徴～」 疑似体験
第4回	グループトーク「子どものいいところを見つけよう！」
第5回	講義③ 「子どもにわかりやすく伝えるには ～構造化～」
第6回	講義④ 「人との関わりやコミュニケーション」
第7回	講義⑤ 「身辺自立やお手伝いの力を育てるには～課題分析～」
第8回	グループトーク「取り組みの中で気づいたこと」
第9回	講義⑥ 「困った行動の原因を考えてみよう！」
第10回	グループトーク 「1年間を振り返って」